

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドサポートさかい（放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	2025年4月1日 ～ 2025年 9月30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数)	7
○従業者評価実施期間	2025年4月1日 ～ 2025年 9月30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数)	14
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 10月 17日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	空間が広くなり、様々な活動ができるようになった。	スタッフの動線、配置を考え子供の安全に努めている。子供に様々な経験をしてもらえるように取り組んでいる。YouTubeなどで遊びを確認し、制作活動にも取り入れている。	有料求人サイトにも求人広告を載せており、人材確保に努めており、人員増員も視野に入れて務めている。
2	医療ケア児に対応できるように児童指導員とNS共に勉強会を増やし、知識レベルを上げている。	スタッフの全員が全利用児に対応できるように活動以外のケア方法等の知識も共有している。	看護師のスキルアップの為に他事業所や外部講師の勉強会も実施している。
3	児童の重症度関係なく様々な医療ケア児を受け入れている。	他事業所、相談支援員との連携を図り、児に対しての個別支援を行うように努めている。	様々な医療ケアに対応できるよう、事業所内の勉強だけでなく外部で開催されている研修へ参加したり、詳しい知識を学ぶために日々努力している。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会	情報収集の場が少なく、家族に対して情報提供する内容がなかった。今後、他事業所との交流を深め情報共有し、家族に情報を伝えていく。	外部講師との契約も行ったので、今後はペアレントプログラムなどにも力を入れていく。オンラインでの勉強会も開催予定。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているが、また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援	家族を含めての交流会が実施出来ていなかった。今後は人員を確保していき、年に2回ほど交流会を行っていく。	今後、クリスマス会や夏祭りイベント等で家族も含む交流会を行う予定をしている。 また、外部での家族交流などのお知らせを適宜共有している。
3	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会	地域との連携や子供同士または高齢者施設との連携が取られていなかったため。今後は地域とも交流を深めるため、事業所の宣伝やSNSでの発信を行っていく。	福祉祭りや各事業所のイベントに参加できるよう他事業所との連携を密にしていく。 他事業所と始まりの会をオンラインなどを活用し、合同に行う予定をしている。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 チャイルドサポートさかい（放課後等デイサービス）

公表日 2025年10月17日

利用児童数

12

回収数

7

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6			1	・新事業所に見にいけていない ・見学に行けていない為、施設内の状態が分かりません。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	7					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構成化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5			2	・新事業所に見にいけていない ・見学に行けていない為、施設内の状態が分かりません。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5			2		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスカイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6			1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6			1		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。		1	2	5		
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6			1		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6			1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		3		4		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	6			1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5			2		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。		1	4	2		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6			1		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている と思いますか。	7					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体 制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発 信されていますか。	6			1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7					
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニユ アル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されて いますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4			3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な 訓練が行われていますか。	4			3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される 等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	6			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や 事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5			2		
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	6			1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6			1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	6			1		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		チャイルドサポートさかい（放課後等デイサービス）		公表日		2025 年 10月 17日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	14		以前の事務所に比べて、スペースが広がった。	動けるスペースが広がった分、見守りを強化したい。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	11	3	配置基準や加算要因についても勉強会などを実施を行い共有もしている。有料の求人広告会社なども利用し、人員確保に努めている。	日によると思うが、こどもの状態に合わせた人員が必要だと感じる。医療ケアの中身が多すぎる。・看護師や指導員を増やしたい。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	14		特性に応じて、支援場所を変えたり、足りない部分は改善を行っている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	14		毎日、預かり終了後に掃除・洗濯を行っている。また、週1回、細かいところの掃除の日を設けている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	14		体調が良くない児童などが横になれ、座りお昼寝できる静養室がある。	静かな部屋があればもう一つあれば良いと思う。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	13	1	年間の事業所目標を主体的に考え、実行中。	話し合う場が多くなり、全員で取り組めると感じる。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	2		保護者向けの評価表があるのかどうか分からない。意向等どう確認しているのか疑問。どう保護者の意見を反映しているのか分からない。面談日を検討している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	1	朝礼やMTGに適宜気付いたことを発信してもらえるように努めている。また、管理者やMGなどと面談日を設けている。	これを言ったらダメかな？と思っているスタッフもいるので風通しの良い環境作りを構築していく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	12		外部よりの検証が入っているか、評価をしているか、実情を知らない。第三者による外部評価の契約をしていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	1	zoom等で定期的な研修がある。事務所移転後から研修が増えている	週1～2回の勤務なので自分の勤務と合わないと感じにくい。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	14		HPに掲載している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	13	1		アセスメントは適切だと思うが、ニーズに見合った計画が作れているかが分からない。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13	1	定期的なケースカンファレンスを行っている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13	1	計画に沿った療育プラン、支援が行えるように毎日ケアスケジュール、療育記録を用いている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	3		フォーマルなアセスメントツールはなくインフォーマルなアセスメントとして日々の支援記録を用いている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13	1	スタッフ全員で考え、個別支援計画書を基に個人に合わせた目標に向かって取り組んでいる。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13	1	you tube等で情報を集め、制作内容の充実や遊び方などの情報収集を行い、スタッフ間で共有を行っている。	スタッフ不足などによりチームではなかなか行うことが難しい。	

援助の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14		日々、スタッフ間で話し合いを行いながら立案を考えている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	13	1		療育支援の内容を充実し、質を今後もあげていきたい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14		前回の反省、当日の業務の確認ができるようになった。最近、連携ができるようになった。	～できる。～ができない。スタッフがいるので、全員ができるような仕組み作りを今後は構築していきたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	2	前回の反省、当日の業務の確認ができるようになった。	送迎に出ていて帰宅時間がバラバラだったりするので、翌日の朝礼時に確認を行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13	1	個別のに応じた援助を行い振替している。	記録が多すぎる。簡素化する方法も必要。子どもに目を向けたい。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13	1	個人の成長や得意なこと苦手なことをモニタリングし、次のチャレンジに活かせるよう工夫している。また、スケジュール管理も行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	13	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	12	2	絵カードや文字盤、ハンドサインなどを使いコミュニケーションを取っている。	子どもの発達支援を考えると難しい。どの程度、理解しているのか分かりづらい。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14		児童発達支援管理責任者や看護師などの状況をよく理解した者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13	1	保護者を通じて主治医へ相談したり、嘱託医にも適宜相談できている。また、MCSの利用も行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	14		変更があれば、適宜対応するように努めている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	11	3	利用児が通っている保育園とは、デイでの様子などを共有し、保育園での様子の確認に努めている。	今後は、相談員さんとの連携をしながらいきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	11	3	卒業前から他事業所と連携し、保護者の意向を確認しながら支援を受けれるように取り組んでいる。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	6	研修に積極的に参加し、学ぶ時間を作っている。そのあと、不参加スタッフに学びを伝える。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	12		あるとは思わない。お互いの理解を深めるためには必要だと思う。状況を見ながら努めていく。今後の検討課題。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	12		自立支援協議会がそもそも何なのか分からない。今後、機会があれば参加していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11	3	送迎時にその日の変化について保護者へ伝え情報共有している。また、その都度スタッフと話し合いを行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11	3	外部講師と契約を行っており、研修会を設けている。資料等もスタッフ間で共有を行い、研修の感想も提出してもらっている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13	1	契約時に説明し同意を得ている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	14		児童発達支援管理者を中心に、適宜保護者と話をしながら確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	14		自宅または、事業所に来所していただき説明を行っている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14		帰りの申し送りに時に相談する時間も適宜行っている。	今後は、面談日を設けていく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	12	各家庭の事情などで実施できていないが、交流の場を計画したい。	夏休みなどの長期休みにできればよいと思う。茶話会などを検討している。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13	1	クレームが発生した場合、遅くとも翌日までに謝罪・改善策を持っていくように務めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	14		SNSで制作内容や活動イベントを投稿している。動画や写真を保護者と共有している。インスタ等も。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14		家に情報を持ち帰らないように徹底している。個人情報に記載されているものは必ずシュレッダーをしている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14		保護者の話にアンテナを張り、気遣いしながら配慮している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	12		事業所を引っ越したばかりなのでこれから検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	3	定期的なシュミレーションを行い、マニュアルの見直しを行っている。	家族の周知まではできていない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12	2		利用日によって重症度が違うのでマニュアルを見直しながら訓練を行う。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	14		個人のケース状況・状態を把握している。	看護師のみが知っているといった状況を作らないように情報共に努めていく必要がある。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	14		アレルギー表を作成し、情報共有している。エピペンの使用の周知を行っている。指示書の確認も行っている（期限なども）	看護師のみが知っているといった状況を作らないように情報共に努めていく必要がある。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13	1	適宜、見直しを行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12	2		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	14		毎朝、朝礼時にヒヤリハットの確認を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	14		勉強会の実施。虐待防止委員会の設置を行っている。スタッフ間での話し合いも行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	14		身体拘束の説明を行い、保護者から同意を得ている。また、児童の安全確保の為にやっている旨も保護者にも説明を行っている。	